

令和2年度 外部評価委員による評価結果

本学独自の外部評価は、令和2年1月下旬からの新型コロナウイルス感染症の拡大防止等を鑑み、委嘱している3人の委員の方に「2020(令和2)年度愛知文教大学 自己点検評価書」を持参し、機関別認証評価日本高等教育評価機構が示している「基準1から基準6及び基準A並びに特記事項」について意見を頂き、集約した概要等は以下の通りです。

評価基準：

基準1 使命・目的等

大学の改善・向上方策への取り組みの努力は、評価できる。形骸化しないように継続的に取り組んでください。

基準2 学生

学生を大切にしている取り組みは評価できます。留学生も在籍しているので経済支援を含めた支援が重要です。

基準3 教育課程

小規模大学の特色を生かした大学教育に努めてください。

基準4 教員・職員

学長のリーダーシップの下、教職員一丸となり能力向上に努めることに期待しています。

基準5 経営・管理と財務

昨今の不安定な社会情勢に伴い経済的にも大変な時節ですが、継続的な大学運営の努力は、評価できます。

基準6 内部質保証

教育分野における「PDCAサイクル」は困難であると想像します。しかし、「PDCAサイクル」を行っていることは意義あると考えます。

基準A 地域連携

小牧市との連携や小牧市内の小学校・中学校との連携に感謝と期待をしています。

特記事項

社会貢献活動として深い関わりがあり、事業がさらに発展することに期待しています。

外部評価委員

氏名	委嘱期間	所属先
岩本 淳	令和元年6月1日～令和3年3月31日	こまき市民文化財団事務局次長
伊藤加代子	令和元年6月1日～令和3年3月31日	小牧市役所こども政策課長
武市 令子	令和2年8月1日～令和4年3月31日	小牧市教育委員会文化財課長